

新型ミラージュ、全日本戦初優勝

ACK伝統のサバイバルラリー、Cクラスは松本誠選手組が優勝

●開催日：4月20～21日 ●開催場所：大分(230km) ●格式：準国内競技 ●主催：ACK[クラブ登録No.40095]

Report&Photo/Shoji Mita

[JAF会誌No.96-5024]

Aクラス優勝の神雅広選手組、ACK3連覇を見事に達成!

「'96 ACK SPRING RALLY」は、大分県H田郡上津江村内を舞台とする231km余りのルートを舞台にして行われた。ラリーはウインターラリー2戦の後を受けた。全日本ラリー選手権第1部門の第3戦として開催される本格的なドライ・イベントとなるが、ラリースタート当日の4月20日には雪がちらつくなど、春には程遠い天候の中で行われることとなった。

従来の規模よりコンパクトになったものの、走らせるラリーとしてのACK SPRING RALLYは今年も健在だった。ただし、ただやみくもに走らせるというわけではなく、第2、第3ステージの主要なSS区間を、事前に第1ステージでハイアベレージのラリー区間として走らせるなど、チャンボを持った設定を行っていた。

ラリー区間だけとなった第1ステージだが、⑧高橋一志/木村光洋選手組セリキ、そして⑩大嶋治夫/小井主要三選手組インプレッサが相次いでリタイアするなど、序盤から波瀾の連続となった。ここをトップで上がったのはACKとは相性の良い④松本誠/岡本徹選手組ランサーで、2番手以降に8点差をつける5点というシングル減点に抑えた。

第2ステージからいよいよSSがスタートすることになったが、スタート早々のSS1から⑨金子裕光/鈴木裕選手組インプレッサ、⑬加勢裕二/美郷正選手組ランサー、⑭西尾雄次郎/松尾博成選手組インプレッサらの強豪が相次いでリタイア。さらにSS2では、⑪石田正史/井上裕之選手組ランサーがリタイアし、⑫松井幸彦/大瀧敏夫選手組インプレッサがコースアウトするなど、ラリーはまさにサバイバル・ゲームの様相を呈するようになって行った。

ここで頭角を現してきたのが、3連続ベス

トタイムをマークした⑥奴田原文雄/小田切順之選手組ランサーで、1点の僅差で松本選手組を2番手に下し、トップに浮上した。しかしこのリードも長くは続かず、第3ステージ序盤のSS4を走り終えた奴田原組のランサーはエンジン・トラブルでリタイアしてしまう。再びトップに浮上した松本選手組は、2番手の⑭山口修/古谷公美洋選手組ランサーの脱落に助けられて最後までトップを守り切り、'94年ひよつき以来2年3ヶ月ぶりの優勝を飾った。

2位には、着実なラリー回りで順位を上げ、第3ステージのSS7、8と連続してベストタイムをマークした⑦勝田範彦/井戸田政喜選手組インプレッサが入賞。3位にはアジバシでも活躍する⑫片岡良宏/山口雅夫選手組ランサーが入った。なお、副監督が陣頭指揮を採ったパッパRチームのエースドライバー⑬新井敏弘/中田省吾選手組インプレッサは第3ステージでトランスミッション

部故障はトップも快進しながらリタイアに終わった山口選手組。3連のタイトル獲得に向けて、エンジンがややや出した。





やはり東海に属した九州勢は今回も強く、Aクラスは柳井は選手がACK3連覇を果たす。



前年優勝の鎌田選手は今回も平堅し2位をゲットした。

ン競出のため、リタイアに終わった。

新型ミラージュが大学して出場したBクラスは、SSのベストタイムでは3本獲得の◎田口幸宏/藤田浩一選手組に対し5本を制した◎原口真/水本圭一選手組が上回ったが、原口選手組はSS1でのコースアウトが響いて5位に入るが勢一杯。この田口選手組とSSでも互角の勝負を見せていた◎鎌田豊/豊田真彦選手組もトップ争いを見せたが、第1ステージのラリー区間の減点が響き、2位に止まってしまった。結局、最後まで手綱を緩めなかった◎田口選手組が優勝を飾り、新型ミラージュの全日本ラリー初優勝をもたらした。なお3位にも同じ新型ミラージュで臨んだ◎増村淳/吉田和広選手組が入った。

一方Aクラスはヴィヴィオの◎柳井広/秋竹誠之選手組が序盤から快走、◎前嶋光男



DとE組は自身の強の中の前選手は前選手は見事に功の表彰台を獲得。

／星野元選手組ヴィヴィオのリタイアにも助けられて、6ヶ所のSSでベストタイムをマーク、◎中塚忠博/黒田正彦選手組ミラを28点差の2位に引き離し今季初優勝を獲得した。地元九州出身の柳選手は94年にミラージュでBクラス優勝、昨年もヴィヴィオでAクラスを制しており、3年連続でACKを制するという快挙である。なお3位にはヴィヴィオに乘る守屋啓昭/小花敏也選手組が入賞した。



自らのアームを前にし中塚の押し上げられも姿を見せた。



ヴィヴィオのライバル、DとE組をPKした守屋選手は2年連続、2位入賞。



A表彰式、左から3位守屋/小花、優勝柳井/秋竹、2位中塚/黒田(代野)の各選手。

B表彰式、左から2位鎌田/豊田、優勝田口/吉田、3位増村/吉田の各選手。

C表彰式、左から2位黒田/柳井、優勝中塚/原口、3位前嶋/山口(ともに代野)の各選手。



大穴の展開となったCクラスでは、堅実に走り切ったベテラン柳井誠/前嶋光男ランナーが優勝した。